

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度		根拠法令・例規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	14 ごみ処理
事務事業名	02	ごみ処理施設管理事業	このシート作成に要した時間 3.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	一般廃棄物の処理を必要とする市民・市内事業者
目的 (何のために)	適正かつ効率的に処理する事により、生活環境の保全につなげる。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	施設の安定的な稼働。ダイオキシン類等を排出基準以下で適正に焼却する。不燃ごみの再資源化、埋立処分量の削減。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	備前ごみ処理施設維持管理事業	備前ごみ処理施設の維持管理を行う。	
	日生ごみ処理施設維持管理事業	日生ごみ処理施設の維持管理を行う。	
	不燃物前処理事業	不燃物前処理施設の維持管理を行う、不燃ごみの選別を行う。	
	備前最終処分場維持管理事業	備前最終処分場施設の維持管理を行う。	
	日生最終処分場維持管理事業	日生最終処分場施設の維持管理を行う。	
	全国都市清掃会議負担金	地方自治体が行う清掃事業の効率的な運営及び技術改善のために必要な調査、研究、情報管理機関への加入。	
	全国都市清掃会議中国・四国地区協議会負担金	地方自治体が行う清掃事業の効率的な運営及び技術改善のために必要な調査、研究、情報管理機関への加入。	
	東備環境施設連絡協議会負担金	備前市・赤磐市・和気北部衛生施設組合のごみ処理施設職員の技術の向上と相互の融和団結を図る。	
	廃棄物処理施設技術管理者協議会	廃棄物の処理に関する調査、研究及び技術の研鑽を行い、協議会会員の資質を図る。	
岡山県廃棄物処理施設整備等促進協議会負担金	県内の自治体が入り、廃棄物処理施設の整備等の促進を図る。		
岡山県適正困難処理指定廃棄物対策協議会負担金	適正処理困難物及び災害廃棄物の処理について会員相互による協力、支援体制の構築を目的とする協議会への加入。		
職員研修会等参加負担金	職員の技術向上のための研修参加負担金		

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		128,996	150,279	163,505	
	必要人員(人件費)	千円	7.04人	41,756	6.79人	40,955
	事業費		170,752	191,234	203,046	
	国県支出金					
	受益者負担		7477	7655	8,918	
	繰入金	千円				
その他( )		18961	7134	15,699		
一般財源		144,314	176,445	178,429		
受益者負担比率	%	4.4%	4.0%	4.4%		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	クリーンセンター備前ごみ焼却量	説明	1年間のごみ焼却量			
	結果指標	t	7,081	6,892	6,395	
	対前年比	%	97.3%	97.3%	92.8%	
	活動コスト	円	93,876,460	108,844,956	89,645,296	
単位当たりコスト		13,258	15,793	14,018		

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
資源化率	目標値(A)	21.0%	22.00%	23.00%	20.00%
	実績値(B)	22.1%	13.70%	19.08%	到達目標値
	達成率(B/A)	105.24%	62.27%	82.96%	26.00%

成果指標設定の考え方・式や説明

資源化量 / 最終処分場搬入量 (焼却灰を除く)

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	B
	目的達成度		
有効性の評価	市民参画度		

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	ごみ処理施設の点検等を実施し、適正な補修等を行い、効率的なごみ処理を行う。新たなごみ分別でごみの資源化・減量化の向上を図るため、市民に適正なごみ処理の啓発を行う。クリーンセンター備前の焼却灰のセメント原料化のため、施設改修工事を行い、埋立量の減量化を図る。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
施設の安定的な稼働を行うには、定期的な点検や補修工事等が重要であり、計画的に修繕を行うことで施設の延命化や維持管理コストの削減を図ることができる。また、ごみ収集処理体系を見直し、新たな分別を導入することでごみの資源化・減量化を推進している。焼却灰のセメント原料化を検討し、埋立量の減量化を図る必要がある。	評価区分 <A~E>	B

Action

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	・新たなごみ分別により市民に適正なごみ処理の啓発を行う。 ・処理施設の延命化を図るための計画的な検討を行う。 ・ごみ収集処理体系の見直しを行う。					